

公益財団法人畑崎財団
平成25年度 事業報告書

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

■公益財団法人の認定

平成25年8月31日付で、兵庫県知事に対して公益認定の申請をし、同年12月1日付で公益財団法人として認定されました。

■公益目的事業について

事業番号	事業の内容	事業比率
公1	最先端の医療の研究及び開発事業	85.4%

事業費 42,737,625 円

【趣旨】

わが国が、いま成熟した長寿社会に移行しつつあるなかにあつて、ファッションブルエージング（年を重ねても明るく健康で内面も充実した生き方）を目指し、スマートでファッションブル（元気で気持ちも前向きで、それが装いや行動にあらわれ活動できる）に明るく健康な社会づくりに貢献するため、健康づくりに関わりのある最先端の医療の研究、開発を行い、その内容を広く発信する。

【事業実施内容】

○研究内容

- (1) 小動物前臨床試験：脂肪由来間葉系幹細胞の脳血管障害に対する治療効果の検証
- (2) 小動物前臨床試験：脂肪由来間葉系幹細胞のアトピー性皮膚炎に対する治療効果の検証

- ・ アトピー性皮膚炎に関しての研究の進行が先行している。幹細胞の血清及び無血清による培養方法を確立し、病態モデルマウスへの投与実験を行っている。治療効果について詳細検討が進行し、データを集積している。研究の進展に伴って、独自の培養方法による知財戦略を具体的に検討する段階に至っている。公益財団法人先端医療振興財団内の研究推進委員会及び倫理委員会の承認が得られている。
- ・ 脳血管障害に関しては、病態モデルマウスへの投与実験を計画中である。先行するアトピー性皮膚炎に関する知見を集積して、更に新規な細胞培養法の開発を進行しているところである。
- ・ 小動物前臨床試験後の臨床試験プロトコール作成にあたって必要となるCPC（Cell Processing Center）設備について、当初共同研究開発者の公益財団法人先端医療振興財団が所有するCPCの利用を予定していたが、兵庫医科大学が新設するCPCに変更する方向で検討を進めている。

事業番号	事業の内容	事業比率
公2	地域活動表彰事業	7.6%

事業費 3,826,465 円

【趣旨】

畑崎ファッションブルエージング賞（以下、畑崎賞という）は、ファッションブルエージング（年を重ねても明るく健康で内面が充実した生き方）を実現するため、有意義な地域活動を行う個人又は団体を顕彰する。

○対象者

（1）健康づくり分野（Health）

健康増進、リハビリ、スポーツ等の分野

（2）知的活動分野（Head）

学習、芸術文化、研究開発、就労等の分野

（3）社会奉仕活動分野（Heart）

福祉、ボランティア、地域活動、国際貢献等の分野

兵庫県内の個人・団体又は兵庫県にゆかりのある個人・団体

○選考方法

県、市町、関係団体等からの推薦に基づき、選考委員会の審査を得て、理事長が決定する。

○受賞者数

1年間の受賞者数は、各分野毎に2件以内

賞状及び副賞1件につき50万円以内を贈呈。受賞者の栄誉を称え、贈呈式を行う。

【事業実施内容】

平成25年7月1日

選考委員就任

委員長	新野幸次郎	公益財団法人神戸市都市問題研究所	理事長
委員	貝原俊民	一般財団法人地域政策研究会	理事長
	菊池晴彦	地方独立行政法人神戸市民病院機構	理事長
	木村光利	公益財団法人兵庫県芸術文化協会	理事長
	高士 薫	株式会社神戸新聞社	代表取締役社長
	畑崎美代子	公益財団法人畑崎財団	評議員

平成25年9月19日

第1回畑崎賞選考委員会開催（於 ホテルオークラ神戸）

畑崎賞の実施要領、委員会設置要項、選考基準、選考スケジュールの確定

平成25年10月23日

畑崎賞創設記者発表（於 兵庫県庁 県政記者クラブ）

平成25年10月24日

県、市町、関係団体、合計70件に推薦依頼

平成25年11月30日

34件の推薦

平成25年12月13日

事前選考検討会実施（於 当財団事務所）

平成26年1月28日

第2回畑崎賞選考委員会開催（於 当財団事務所）

理事長承認、受賞者決定

①健康づくり分野（Health）

一般社団法人兵庫県音楽療法士会

土屋 さなえ（医師）

②知的活動分野（Head）

安田 安義（農業）

源 光恵（語り部サークル代表）

③社会奉仕活動分野（Heart）

上谷 昭夫（会社員）

ボランティアふれあいサロン

（敬称略）

平成26年3月6日

第1回畑崎賞表彰式実施（於 神戸国際会館）

※事業報告の附属明細書については、平成25年度事業報告書に含むものとする。

以上